

# BCGワクチンの懸濁方法

1

## BCGアンプルの確認。

- ・アンプル内の乾燥BCGワクチンの乾燥状態を確認
- ・通常の乾燥体は、直径7mmほどの円盤状
- ・万一吸湿している場合は、使用しない

2

## BCGアンプルにキズをつける。

アンプル頸部全周にアンプルカットでキズをつける。



3

## キズの部分をアルコール綿で清拭し、十分に乾燥させる。

乾燥が不十分だとアルコールが混入し、均一な懸濁液ができなくなる。



4

## BCGアンプルを開口する。

(1) 添付の黒ポリ袋でアンプル全体を包む。



(2) 黒ポリ袋をねじって、中の空気を追い出す。



(3) キズをつけた部分から、アンプルを折る。



5

## 懸濁用生理食塩液アンプルを開口する。

(1) アンプルを軽く振り、上に残っている溶液を下に落とし、頸の部分をアルコール綿で清拭し、十分乾燥させる。

(2) カットマークを上にして、正しく反対側に折って開口する。



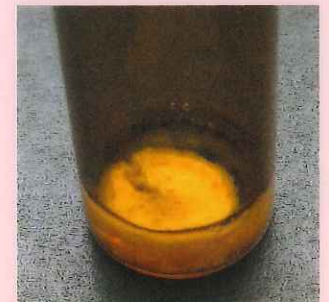
6

## 添付のスピイトで生理食塩液を全量吸い上げ、内壁に沿ってゆっくりと注入。

注射器は絶対に使用しないこと。



注入直後



7

2～3分間静置し均等に十分湿らせた後、静かにアンプルを振る。

8

## 懸濁液の完成

80mg/mLの濃度のワクチンが得られる。



## 懸濁しづらくなる場合

### ■乾燥体が崩れている

生理食塩液が染み込むのに時間がかかる。

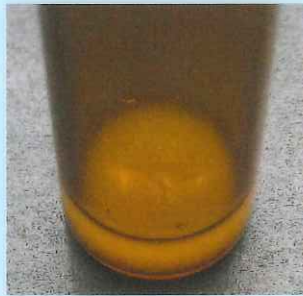


### ■勢いよく生食を注入

管壁に乾燥体が付着してしまう可能性がある。



静置時間を延長すれば  
いずれも懸濁すること  
ができる。  
(品質に問題はない)



## 懸濁できない場合

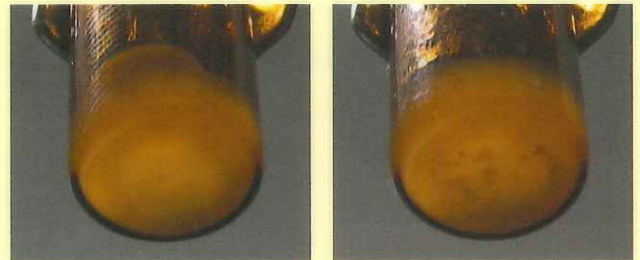
### ■ごく微量でもアルコールがアンプル内に混入し、乾燥体に付着した場合。

アルコールが付着した乾燥体を懸濁させると、粒状になったBCGが管壁に残る。



正常      アルコール付着

アルコールが付着した場合、底面からも粒状になったBCGが確認できる。



正常      アルコール付着

### ■アルコールが乾燥する前に開口した場合

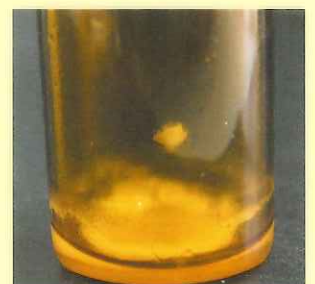
清拭後、乾燥する前にワクチンアンプルを開口した場合、アルコールがワクチンアンプル内に引き込まれる。



アルコール混入

### ■アルコール綿を巻きつけて開口した場合

しっかりと絞ったアルコール綿であっても、巻きつけた状態でワクチンアンプルを開口すると、アルコールがワクチンアンプル内に混入する。



アルコール混入

## アルコール清拭後の乾燥の目安



傷を付けた直後

清拭直後

乾燥後

製造販売元



日本ビーシージー製造株式会社

〒204-0022 東京都清瀬市松山三丁目1番5号

【お問い合わせ先】

日本ビーシージー製造株式会社 カスタマーセンター

〒112-0012 東京都文京区大塚一丁目5番21号

TEL 03-5395-5590